

寄贈映画資料を公開



来場者に展示の解説をする池田さん
=浜松市中区の静岡文化芸術大

静岡文化芸術大パンフレットや脚本120点

浜松市中区の静岡文化芸術大で4月6日まで、映画資料展「Movie & Text—映画資料を読む—」(同大文化・芸術研究センター主催)が開かれている。

映画館を運営する静活(静岡市葵区)から寄贈された映画のパンフレットや脚本などを中心に、約120点の映画資料を展示している。展示品の多くは会

敬一氏の書き込みが残る。浜松市出身の映画監督木下恵介氏や下田市出身の映画編集者浦岡

る脚本も並ぶ。デザイン学部講師の池田泰教さんは「現場で使われていた脚本などを通して、映画の制作プロセスを楽しんでもらえた」と話す。入場無料。

パンフレットは「ローマの休日」「バック・トゥ・ザ・フューチャー」や「スティングガールズ」など国内外の作品が年代別に紹介され、サイズや内容の変遷が見て取れる。

浜松市出身の映画監督木下恵介氏や下田市出身の映画編集者浦岡

